

【概要】○避難地域等における農林水産業の再生に向け、担い手不足に対応した省力化や効率化等を図るため、ロボットトラクタ等の開発実証に取り組むとともに、ICTによる環境制御型園芸施設等の整備を推進した。

8つのプロジェクト

1 水稲超省力・大規模生産プロジェクト

2 畑作物大規模生産プロジェクト

ロボット等により、生産コストの低減と安定した収益が確保できる新しいモデルを構築する。

3 環境制御型施設園芸構築プロジェクト

ICTを活用した生育条件の管理や省力化を図る。

4 フラワー・コースト創造プロジェクト

風評の影響を受けにくい「花き」等の大規模生産や付加価値の高い鉢花等の生産を推進する。

5 阿武隈高地畜産業クラスタープロジェクト

先端技術を活用した大規模経営モデルを構築する。

6 県産材の新たな需要創出プロジェクト

林業用ロボットやCLT等の新技術と木質バイオマスが牽引する森林再生と林業振興を推進する。

7 水産研究拠点整備プロジェクト

水産研究拠点を整備し、海洋における放射性物質対策等の研究・情報発信を行う。

8 作業支援プロジェクト

作業の軽労化、省力化を提供できる農林漁業作業支援ロボットを開発・導入する。

取組状況と課題

（取組内容）中型ロボットトラクタと法面除草ロボットの開発・現地実証に着手

（課題）実用化に向けた開発機の改良と更なる技術開発及び作業上の問題抽出と解決

（取組内容）ICT等を活用した環境制御型施設の導入（いわき市：トマト16,896㎡ 南相馬市：トマト他24,388㎡）

（課題）コストの低減、販路の安定確保

（取組内容）花き品目の導入と施設の整備（飯舘村：かすみそう 2,292㎡、トルコギキョウ 1,404㎡）

（課題）浜通りの気象を活かした出荷時期拡大技術の開発、生産施設の整備と生産拡大、集出荷体制の整備

（取組内容）大規模繁殖経営体を支援する個体一元管理システムの開発

（課題）現地実証によるシステムの改良

（取組内容）苗木植栽ロボット、CLT建築物、メタンガス製造の実証を実施

（課題）苗木植栽ロボットの海岸防災林造成地特有の条件に対応した改良

（取組内容）水産種苗研究・生産施設、水産試験場の整備・機能強化

（課題）竣工に向けた工程管理の強化

（取組内容）農業用アシストスーツと水田除草ロボットの現地実証等を実施

（課題）実用化に向けた更なる改良



【概要】○引き続き、本地域に適した先端技術の開発実証に取り組むとともに、営農再開に向けた施設等の整備を支援する。

| | | |
|---|--|--|
| <p>(1) ロボットトラクタの開発・実証 (H28～H29)</p> | <p>(2) 法面除草ロボットの開発・実証 (H28～H30)</p> | <p>(3) 家畜の個体一元管理システムの開発・実証(H28～H29)</p> |
| <p>(取組内容) 開発したロボットトラクタを用い、代かき、施肥、は種等の作業の現地実証を行う。</p> <p>(実証場所) 南相馬市ほか</p> <p>(普及対象地域) 対象15市町村</p>  <p>ロボットトラクタ</p> | <p>(取組内容) 開発した除草ロボットを用い、形状や草種の異なる法面での現地実証を行う。</p> <p>(実証場所) 飯舘村ほか</p> <p>(普及対象地域) 阿武隈高地ほか</p>  <p>除草ロボット</p> | <p>(取組内容) H28年度に開発した一元管理システムの現地実証。</p> <p>(実証場所) 葛尾村もしくは飯舘村</p> <p>(普及対象地域等) 阿武隈高地を中心とした畜産農家</p>  <p>システム画面イメージ</p> |
| <p>(4) 苗木植栽ロボットの開発・実証 (H28～H30)</p> | <p>(5) 農業用アシストスーツの開発・実証 (H27～H29)</p> | <p>(6) 水田除草ロボットの開発・実証 (H27～H29)</p> |
| <p>(取組内容) 改良型ロボットの作製・現地実証とベースマシンの検討。</p> <p>(実証場所) 南相馬市</p> <p>(普及対象地域) 浜通り</p>  <p>海岸防災林での試験</p> | <p>(取組内容) 浜通り等において、幅広い品目、被験者等で実証を行い、商品化と普及を促進する。</p> <p>(実証場所) 南相馬市等</p> <p>(普及対象地域) 対象15市町村</p>  <p>アシストスーツ</p> | <p>(取組内容) 改良型試作機の実規模現地実証と現地検討会を開催し、商品化と普及を促進する。</p> <p>(実証場所) 広野町等</p> <p>(普及対象地域) 対象15市町村</p>  <p>水田除草ロボット</p> |

先端技術を活用した農林水産業の復興・再生

【先端技術の開発・実証】

(1) 農林水産分野イノベーション・プロジェクト推進事業【予算額145,931千円】

浜通り及び避難指示等区域において、ロボット技術やICT等の先端技術を取り入れた先進的な農林水産業を実践することで、農林水産業の復興と再生を図る。

(ロボットトラクタ、除草ロボット、苗木植栽ロボット、農業用アシストスーツ等の開発・実証)

(2) 先端技術活用による農業再生実証事業【予算額81,392千円】

放射性物質の影響を極力排除した新たな農業の展開による早期復興を目指して先端技術を活用した実証研究を実施する。(花き栽培技術や野菜苗生産技術等の実証研究)

(3) ふくしまアグリイノベーション実証事業【予算額32,275千円】

低コスト・高収益化を可能とする稲作技術と作業の効率化・省力化を可能とするICT技術を組み合わせた営農レベルでのフィールド実証を実施し、大規模経営体の育成を図る。

【水産研究拠点の整備】

(1) 水産試験研究拠点整備事業【予算額779,160千円】

原子力災害に起因する新たな研究課題への対応を行う水産試験場の機能強化を目的とした施設等を整備する(平成29年度実施内容:既存施設解体、本体建設等)。

(2) 水産種苗研究・生産施設復旧事業【予算額4,104,010千円】

本県水産業の復興に不可欠な栽培漁業の再構築のため、水産種苗研究等、資源の持続的利用・経営安定向上のための技術開発・研究を行う拠点施設を整備する(平成29年度実施内容:本体建設等)。

【先端技術の普及】

(1) 福島再生加速化交付金(帰還環境整備)【予算額80,700,000千円の内数】

農林水産業の再開に必要な施設等を整備する。

① 被災地域農業復興総合支援事業

農業用機械や生産・加工・流通・販売に必要な農業用施設等を整備する。

② 木質バイオマス施設等緊急整備事業

木質バイオマス関連施設、木造公共建築物、再生可能エネルギー導入調査設計・施設を整備する。